

賛育倶ニュース

SAN-IKUKAI News



636
2016 Spring

社会福祉法人 賛育会
広報誌



春爛漫、笑顔の花を咲かせよう

2016年度の スタートにあたつて

理事長 小堀 洋志

喜ぶ人と共に喜び
泣く人と共に泣く

そんな我々でありたい。

ご存じのように、賛育会が創立されてからもうすぐ100年がやがります。そして今年は創立してから98周年にあたります。組織がこのように長く続いているからたということは実は大変なことです。この間、経営的危機があり、関東大震災があり、さきの大戦では東京大空襲で建物は焼け落ち、存続の危機に瀕した賛育会です。しかし、賛育会はその中から不死鳥のごとく立ち上がりつくることができました。それは、先輩たちの血のにじむような努力の結果と、地域の方の支えと、なによりも不思議な導きがあつて初めてこの事業がここまでくることができたのだと思います。

今では、東京都の墨田区、江東区、中央区のみならず、町田市、長野県、静岡県にも私たちの事業は広がっています。事業内容も当初の病院から始まり、看護、介護、保育の

分野に広がっています。昨年度は、町田市の清風園に隣接した場所にサービス付き高齢者向け住宅を立ち上げることができました。現在、順調に入居が始まっています。これからも、私たちは地域の必要に応えて新しい取り組みにチャレンジし続ける必要があるでしょう。

賛病の経営改善はさらに進める必要があります。また、その将来構想も組上に載せることが重要です。

介護の世界へ人々の関心も高くなっています。これからはそのサービスの質が高く評価されていくでしょう。

また、社会福祉法人の在り方に対しても、社福ゆえの地域への活動が求められています。

そして高齢化、少子化といわれる日本において、財政上からくる制約もあり、これから多くの課題・困難がでてくることでしょう。

地域のニーズに寄り添い、私たちを必要とされている方の喜びとともに元気に進んでいきましょう。明るい、自由に物が言え、アイデアを出し合って前に進む、そんな賛育会をともに漕いでいきま



就退任あいさつ

退任

東海診療所 所長 中村 慶彦



長い間御世話になりました。この間、毎日毎日大変楽しく過ごすことが出来ました。こちらの皆様とも患者さんとも仲よくなり、沢山の思い出が出来ました。小生といたしましてもう思い残すことはありません。

これまでの思い出と共に残りの人生を過していきたいと思つておられます。

就任

東海診療所 所長 森 尚志



中村先生の後任で東海診療所の所長を一月より拝命いたしました、森尚志と申します。なるべく早く御前崎に順応し、診療所及び東海清風園の発展に貢献できたらと考えて居りますが、微力な未熟者ですので、どうぞ皆様御指導のほどよろしくお願ひいたします。

就任

相良清風園 施設長 杉浦 広隆



1997年4月の入職以来、清風園・マイホームは相良清風園で勤務してきました。19年にわたり多くの

中村先生の後任で東海診療所の所長を一月より拝命いたしました、森尚志と申します。なるべく早く御前崎に順応し、診療所及び東海清風園の発展に貢献できたらと考えて居りますが、微力な未熟者ですので、どうぞ皆様御指導のほどよろしくお願ひいたします。

就任

相良清風園 施設長 杉浦 広隆



1998年4月より、相良清風園の施設長に就任いたしました杉浦広隆でございます。

次なる百年に向けて、隣人愛の実践という使命を果たすべく賛育会の発展を心よりお祈りいたします。ありがとうございました。

私は、1998年に賛育会に入職し、老健ゆたかのに機能回復訓練員として働きました。19年にわたり多くの

退任 法人事務局 総務部長 柴田 光昭



25年と9ヶ月。途中6年弱の離職期間を挟んで、歴史ある賛育会に私が職員として連なった通算年月です。こんなに長かったとは。ソーシャルワーカー「相談員」としての自分が最も自分らしいです。

私たちには、先人たちの使命を受け継ぎ次世代に引き継ぐ役割があります。賛育会100周年に向けて、その歴史の重みを大切に受け止め、変化に適応し、地域から今後も必要とされるサービスの提供に、皆様と共に努めています。よろしくお願いいたします。

就退任あいさつ

退任

東海診療所 所長 中村 慶彦



長い間御世話になりました。この間、毎日毎日大変楽しく過ごすことが出来ました。こちらの皆様とも患者さんとともに仲よくなり、沢山の思い出が出来ました。小生といたしましてもう思い残すことはありません。

これまでの思い出と共に残りの人生を過していきたいと思つておりました。私は、1998年に賛育会に入職し、老健ゆたかのに機能回復訓練員として働きました。19年にわたり多くの

字決算が1年、赤字決算が3年といふ不本意な成績に終わり、経営改善に追われた4年間でした。しかしながら、赤字を体験したことで遅まきながら学んだことも多くあります。その一つが、施設経営の基本的な構造でした。介護サービス提供事業所として、利用者と提供スタッフの協働でサービスが成立します。しかし、利用者数とスタッフ数のバランスが崩れますと、結果的に財務数字のバランスを修復するには、お金はサービス提供現場で動いていますので、スタッフ全員で取り組まないと経営改善は果たせないということでした。この学びを基に相良清風園の経営改善に取り組んできましたが、改善半ばでの退任となりました。残念ではありますが、経営改善の仕上げは、後任の若さあふれる杉浦広隆施設長に委ねます。

ご利用者をはじめ、ご家族、ボランティアの皆様、地域住民、他多数の関係機関の方々のお支えにより、今日の相良清風園があります。皆様に支えていただき歩み続けた15年間に、そして職員の皆様にも心から感謝いたします。

私たちには、先人たちの使命を受け継ぎ次世代に引き継ぐ役割があります。賛育会100周年に向けて、その歴史の重みを大切に受け止め、変化に適応し、地域から今後も必要とされるサービスの提供に、皆様と共に努めています。よろしくお願いいたします。

ら」を考えた末、退職の道を選択しました。

私が世の中の不条理を痛感したのは遙か昔。ちばてつやの漫画「あしたのジョー」を読んで南千住（山谷）を訪れ、そこの住人の人々の生と死に出会つたことがきっかけでした。アル中の元ボクサー丹下段平が、主人公のジョーに向かつて「泪橋」を逆に渡るんだ!」という場面が私を山谷へ福祉の道へと誘つた訳ですが、これからも福祉の世界で「泪橋」を逆に渡る活動を続けていこうと思っています。そして、これからも賛育会と共にと願っています。

退任 法人事務局 付部長 永井 都也子



はなみずきホームの開設時に賛育会に入職して早24年。尊敬する父が退職した年齢となり、「これか

として配属されました。2001年7月相良清風園開設時に異動し、特養・デイサービスセンター・生活部での業務を経て、この度施設長を務めさせていただきました。黒字決算が1年、赤字決算が3年といふ不本意な成績に終わり、経営改善に追われた4年間でした。しかしながら、赤字を体験したことで遅まきながら学んだことも多くありました。この機会に、開設当時の資料を拝見いたしました。賛育会として10番目、当時旧相良町（現牧之原市）では初めての特別養護老人ホームとして開設。準備から建物完成まで僅か2年。開設時は無我夢中で嵐のような毎日が続いた現場など、当時の施設長をはじめ役職者の熱い言葉が残されておりました。先人達が創りあげた相良清風園への思いを、改めて受け止めました。

み始めた時、その子が机に顔を伏せ肩を震わせました。手紙の内容は「長女のあなたにじっくり向き合えず後回しになつたり、お姉ちゃんなんだからと叱つたりしてごめんなさい。でも、お母さんもお父さんもお祖母ちゃんもお爺ちゃんも、あなたのことが何よりも大切で大好きです。あなたは家族の宝物です。産まれてきてくれてありがとうございました。」というものでした。聞いていた私も胸が熱くなり、教室を出た途端あふれる涙が止まりませんでした。この授業を通して、私たち助産師の出番はここにあると強く思いました。

自分ってすごい！」「生きているってすごい！」という自己肯定感が高まるこことを願つて、これからも地域の子どもたちの笑顔のために活動を継続していきたいと思います。



当院では、「いのちの授業」という出前授業を15年前から行つて います。

＼産まれてきてくれて
ありがとう

クローズアップ 賛育会

二人は同期生であり、相良清風園の職員として4月で6年目を迎えます。互いに支え合い、時には良きライバルでもあります。

東京都出身の川上さんは体育系の大学を卒業後、当施設の特養での経験を経て、デイサービスの配属となり早2年、相談員として1年半です。利用者に対する優しい対応、そして家族の立場となつて考えられる心遣いがあり、ご利用者やご家族からの熱い信頼を得ています。相談員となつてからはより一層向上心が強く、一度指導すると次には実践へと繋げる力を持っています。そして、何事にも率先して業務にあたり業務の拡大や改善に努め、厳しい状況下であっても仕事をやり遂げる力を持つています。部署職員からの信頼が厚く、頼れるリーダー的存在です。一方で音楽クラブのリーダーとしても活動しています。音楽クラブでは、その時々の季節に合った曲を職員の楽器の演奏で盛り上げ、みんなで歌う楽しいクラブですが、他の業務で忙しい中でも歌を頼むと快く引き受け、素敵な歌声を聞かせてくれ、ご利用者から的好評を得ています。彼なしでは活動できないクラブ活動です。



川上脩太さんと笠原舞子さん

ピックアップ 新入職員の声！ Vol.09

2016年4月から一緒に働く新しい仲間の声をピックアップでご紹介



患者さんとご家族の心
に寄り添った支援ができるよう頑張ります。
賛育会病院
シバモト ミホ
柴本 美帆(医療相談員)
(2015年4月採用)



強く優しい人となれるよう、
日々学んでいきたいと思
います。よろしくお願ひします。



これから新しい生活が始まります。今の気持ちを忘れずに精一杯頑張っていきたいと思います。
たちばなホーム
カツタ アキノリ
勝田 昭典(介護員)



今後人々から求められる介護の世界で、自分の素質を活かせるように楽しく人と接しながら頑張ります
東京清風園
ミズシマ ヨシユキ
水島 淑之(介護員)



初めての介護の仕事で日々学ぶことが多いと思いますが、日々成長しつつ明るく楽しく仕事を頑張っていきます。



右も左もわからない状態ではあります、心意気だけは負けないよう、バランスをとって頑張ります。

